

×整理番号	
×受理年月日	

特定液化石油ガス設備工事事業開始届書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

三郷市消防長 様

氏名又は名称及び法人に

あつてはその代表者の氏名

三郷太郎

印

住所

三郷市中央〇丁目〇番地

電話番号

048-〇〇〇-〇〇〇〇

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の10第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

1 事業所の名称

〇〇商店

2 事業所の所在地

埼玉県三郷市東町〇〇番地

3 記録及び配管図面の保存の場所及び分類の方法

事務所内書庫に保存、あいうえお順に分類

(備考) 1 ×印の項は記載しないこと。

2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

×整理番号	
×受理年月日	

特定液化石油ガス設備工事事業廃止届書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

三郷市消防長 様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名

三郷太郎

印

住 所

三郷市中央〇丁目〇番地

電 話 番 号

048-〇〇〇-〇〇〇〇

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の10第2項の規定により、
次のとおり届け出ます。

事業開始の届出年月日

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

- (備考) 1 ×印の項は記載しないこと。
2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名
することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

×整理番号	
×受理年月日	

特定液化石油ガス設備工事事業変更届書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

三郷市消防長 様

氏名又は名称及び法人に

あつてはその代表者の氏名

三郷太郎

印

住 所

三郷市中央〇丁目〇番地

電 話 番 号

048-〇〇〇-〇〇〇〇

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の10第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

1 事業開始の届出の年月日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

2 変更の内容

代表者の変更

三郷次郎 → 三郷太郎

3 変更の理由

人事異動のため

- (備考) 1 ×印の項は記載しないこと。
2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

様式 15. 4

1. 記録及び配管図面の保存場所及び分類の方法

(1) 保存場所 記録（別紙様式）及び配管図面は、当事業所の（ **保安台帳置場** ）に5年以上保存します。

(2) 分類方法等 （該当方法に○印をつけること。）

ア、消費者名をアイウエオ順に分類する。

イ、消費者名を市町村別に分類する

ウ、その他（ ）

2. 事業所に備える器具

名 称	メ ー カ ー	台 数
自 記 圧 力 計	○○○○	○○

3. 主な事業内容（該当するものに○印をつけること。）

(1) **液化石油ガスの販売**

(2) 配管設備工事

(3) その他（ ）

4. 資格を有する者の氏名

氏 名	液化石油ガス設備士	
	免 状 の 番 号 及 び 交 付 年 月 日	交 付 都 道 府 県 名
三 郷 太 郎	○○○○	埼 玉 県
	平成○○年 ○○ 月 ○○ 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

（注）欄が不足の場合は別紙とする。

×整理番号	
×受理年月日	

液化石油ガス設備工事届書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

三郷市消防長 様

氏名又は名称及び法人に

あつてはその代表者の氏名

〇〇〇株式会社 □□支店

代表取締役

三郷太郎

印

住 所

三郷市中央〇丁目〇番地

電 話 番 号

048-〇〇〇-〇〇〇〇

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	三郷市 彦倉 〇丁目〇番地
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	〇〇〇屋 三郷店
当該設備の使用目的	飲食店
貯蔵設備の貯蔵能力	980kgバルク×1基=980kg
工 事 の 内 容	ガス設備工事

(備考) 1 ×印の項は記載しないこと。

2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

設備工事届書別紙

1. 貯蔵設備等の構造総括表

貯蔵能力		800 Kg (50 Kg × 16 本)		
容器 収納庫 の 構造	屋根	①繊維強化セメント板・②薄鉄板・③その他 ()		
	扉	材質 (スチール) 厚さ (〇〇 mm) ①引戸 ・ ②シャッター ・ ③開戸		
	囲い	鉄筋コンクリート・②重ブロック・③鋼板製・④その他 ()		
	滞留防止措置	①有 (〇〇 cm × 〇〇 cm 〇 個 〇〇方向) ・ ②無		
	転倒防止措置	①チェーン ・ ②その他		
位 置	火気 2 m	①適 ・ ②否	敷地境界線までの距離	〇〇 m
	保安物件までの距離	第1種保安物件		〇〇 m
		第2種保安物件		〇〇 m
	火気取り扱い施設との距離 (1トン以上に限る)		①適 (5m以上) ・ ②否	
供 給 状 況	調整器	①自動切替式(1.分離型・2.一体型) ・ ②2段減圧式(1.分離型・2.一体型) ③単段減圧式 能力 〇〇 kg/h		
	メーター	①マイコンII ・ ②S ・ ③SB ・ ④E ⑤EB ・ ⑥その他 (), 〇〇 号		
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	①有 ・ ②無		
	対震自動ガス遮断装置	①メーター内蔵 ・ ②感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	①有(1.流量検知式・2.圧力検知式・3.流量検知式圧力監視型) ・ ②無		
気化装置 (添付書類)	①有 (形式 能力 kg/h) ・ ②無 (認定書の写し)			
警 戒 標	LPガス	〇枚	火気厳禁	〇枚
	無断立入禁止	〇枚	緊急時連絡先	〇枚
	燃	〇枚	管理者氏名	〇枚
消 火 器	能力単位 A - (5) 、 B - (12) 本数 (1) 本			

2. 供給管等

高 圧 部	主な管の材料	塩化ビニル被覆鋼管		
中・低圧部	露出部	主な管の材料	塩化ビニル被覆鋼管	
	埋設部	主な管の材料	深 さ	〇〇 m
	ピット	①有（有の場合は、図面に明記すること。） ・ ②無		

3. その他

設 備 士 名	三 郷 次 郎	設 備 士 免 状 番 号	埼 玉 県 No.〇〇〇〇
設 備 士 再 講 習 受 講 年 月 日	令 和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日		
ポ リ エ チ レ ン 資 格 者 氏 名	三 郷 次 郎	資 格 番 号	埼 玉 第 〇〇〇 号
配 管 用 フ レ キ 管 資 格 者 名	三 郷 次 郎	資 格 番 号	埼 玉 第 〇〇〇 号
施 工 後 の 表 示	①有 ・ ②無	施 工 完 了 年 月 日	令 和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
工 事 業 者 連 絡 先 電 話 番 号	0 4 8 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇		
販 売 事 業 者 名 ・ 電 話 番 号	①有 (0 4 8 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇) ・ ②未定		

4. 添付書類（以下の書類を添付すること）

1	現地への案内図（最寄り駅から所在地までが確認できるもの）
2	敷地配置図（敷地内の貯蔵設備の位置と付近の状況を示す図面）
3	保安距離図（貯蔵能力1トン以上の物件に限り必要。貯蔵設備からの保安距離（斜め距離含む）が確認できる図面）
4	容器収納庫の構造図（市販品使用の場合は製造元の仕様書等でも可）
5	供給管の配管図
6	施工設備士の免状の写し（再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。）
7	気密試験結果（自記圧力計の記録用紙の写し）*中圧部分がある場合はその結果も必要

様式 16. 3-1-1 (バルク様式 4-1-1)

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙 1-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		985 Kg (985 kg × 1 基)	
規則 19 条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
3 号 イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋没式 容積 <u> 〇〇 </u> m ³ 材質 <u> 銅板SM520 B </u>	製品仕様書及び 明細図
3 号 ロ	保 安 距 離	用途地域等(①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 <u> 〇〇 </u> m 第2種保安物件までの距離 <u> 〇〇 </u> m 敷地境界線までの距離 <u> 〇〇 </u> m 構造壁等の有無 <u> 有 ・ 無 </u>	設置場所付近配置図 (保安距離を示す) 構造壁等の配置図、 構造図 施工時写真
3 号 ハ	安 全 弁 及び安全弁元弁	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置 所要吹出し量 W ₁ = <u> </u> kg/h 規定吹出し量 W ₂ = <u> </u> kg/h	
(1)	液 面 計	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ・ ③その他 方式: <u> </u>	
(2)	過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ・ ③その他	
(3)	カップリング用液流出 防止装置付き液取弁	①試験合格品 ・ ②大臣認定品	
(4)	ガ ス 取 出 弁 及びガス放出防止器等	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 ① 試験合格品 ・ ② 大臣認定品 ・ ③ その他 ・ ④ 無	
(5)	液 取 出 弁 及びガス放出防止器等	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 ① 試験合格品 ・ ② 大臣認定品 ・ ③ その他 ・ ④ 無	
(6)	カップリング付き均圧弁	有(①試験合格品 ・ ② 大臣認定品) ・ 無	
(7)	付属機器(1)~(7)の保護	プロテクター厚さ <u> 〇〇 </u> mm	
(8)	警 戒 標	表示内容: <u> 液化石油ガス </u> ・ LPガス ・ 火気厳禁	施工後写真
(9)	緊急連絡先の表示	表示内容: <u> 名前 ・ 住所等 </u>	施工後写真
(10)	腐 食 防 止 措 置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 <u> 〇〇塗料 </u> 膜厚 <u> 〇〇 </u> μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 <u> 〇〇塗料 </u> 膜厚 <u> 〇〇 </u> μm 3. 電気防しよく措置 (地下貯槽) ①有(マグネシウム <u> </u> kg × <u> </u> 本) ・ ②無 防しよく電位測定端子・プロテクターとの 電氣的絶縁・配管との絶縁継手等	施工時写真
(11)	支柱又はサドル等	①支柱 ・ ②サドル ・ ③その他	施工後写真

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙 1-2)

3号ニ (地上貯槽)	(1) 基礎	地盤面からの高さ <u> 〇〇 </u> cm	施工時写真
	(2) 車両が接触しない措置	措置方法: 貯蔵施設	施工時写真
	(3) 支柱又はサドル等の固定	アンカーボルト	施工後写真
	(4) 接地	接続線の断面積 <u> 〇〇 </u> mm ² 接続方法: 接地棒の直径 <u> 〇〇mm </u> 長さ <u> 〇〇mm </u>	施工後写真
	(5) 安全弁放出管の設置	頂部からの高さ <u> 〇〇 </u> cm	施工後写真
3号ホ (地下貯槽)	(1) 頂部は地盤面下30cm以上	頂部埋設深さ <u> </u> cm	施工図面・施工時写真
	(2) 埋設場所に車両乗入不可の措置	措置方法:	施工後写真
	(3) 浮き上がり防止措置	バルク貯槽空体総質量 <u> </u> kg コンクリート板の質量 <u> </u> kg バルク貯槽の全容積 <u> </u> m ³ コンクリート板の容量 <u> </u> m ³	施工図面・施工時写真
	(4) 石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5) ガス検知用孔あき管設置	設置本数 <u> </u> 本	位置図・施工時写真
	(6) 標識杭の設置		位置図・施工時写真
	(7) プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて <u> </u> mm	貯槽仕様図面
3号へ	2m以内の火気をさえざる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 <u> 1.5 </u> m 措置方法: 屋外設置	配置図(火気距離示す) ・構造図・施工後写真
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 <u> 1.8 </u> MPa	
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 <u>東京都〇〇区〇〇 〇〇番地</u> 名称 <u>〇〇物流センター</u>	無の場合にあつては、 告示に定める要件に 適合する資料
6号	貯蔵と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式をプロテクター内・②二段減圧式一体型を貯槽の直近・ ③二段減圧式分離型の一次側をプロテクター内・④その他	施工後写真
7号	規則第18条第4~7号、第8号の2~ 16号、第18~22号の基準	(別紙3)	
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽~調整器 <u> 〇〇 </u> MPa 調整器~メータ <u> 〇〇 </u> MPa 一次調整器~二次調整器 <u> 〇〇 </u> MPa	

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙2-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		600 Kg (50 kg × 12 基)		
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類	
1号 (貯蔵能力千キログラム未満)	イ	カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ	カップリング用液流出防止装置 (①試験合格品 ・ ②大臣認定品)	
	ロ	ガス取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (①.試験合格品・②.大臣認定品・③その他・④無)	
	ハ	液取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (①.試験合格品・②.大臣認定品・③その他・④無)	
	ニ	カップリング付き均圧バルブ	有(カップリング ①.試験合格品・②.大臣認定品) ・ 無	
	ホ	液 面 計	①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方式： 2点発信式	
	ヘ	過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	ト	付属機器イ～への保護	プロテクターの厚さ 〇〇 mm	
	チ	警 戒 標	表示内容： 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	リ	緊急連絡先の表示	表示内容： 住所・氏名・電話	
	ヌ	腐 食 防 止 措 置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 〇〇塗料 膜厚 40 μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 〇〇塗料 膜厚 40 μm	
	ル	スカート又はサドル等	①スカート・②サドル・③その他	施工時写真
	ヲ	基 礎	地盤面からの高さ 〇〇 cm	施工時写真
	ワ	車輛が接触しない措置	措置方法：	施工時写真
	カ	安全弁放出管の設置		施工後写真
ヨ	2 m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 〇〇 m 措置方法：	配置図(火気距離示す) ・ 構造図・ 施工後写真	
タ	常に40℃以下に保つ		構造図	

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙 2-2)

2号 (貯蔵能力千キログラム以上 三キログラム未満)	イ	保安距離	用途地域等 (①工業専用地域・②工業団地・③ <u>その他の地域</u>) 第1種保安物件までの距離 <u>〇〇</u> m 第2種保安物件までの距離 <u>〇〇</u> m 敷地境界線までの距離 <u>〇〇</u> m 障壁の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ	火気を取り扱う施設 距離及び液化石油ガスの 流動を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 <u>〇〇</u> m 敷地境界線までの距離 <u>〇〇</u> m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の 配置図及び構造図
	ハ	屋根又は遮へい板	材質:	構造図
	ニ	消火設備の設置	消火器の個数 <u>〇</u> 個 消火器の能力 A-(<u>〇</u>) B-(<u>〇</u>)	設置場所の位置図
	ホ	規則19条1号イ~カ までの基準	(別紙2-1)	
4号	容器は漏洩がないこと	試験圧力 <u>〇〇</u> MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	<u>無の場合にあっては、告示に定める要件に適合する資料</u>	
6号	容器と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式をプロテクター内・ ②二段減圧式一体型を貯槽の直近 ③二段減圧式分離型の一次側をプロテクター ④その他	施工後写真	
7号	規則第18条第4~7号、第8条の2~ 16号、第18~22号の基準	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯蔵~調整器 <u>〇〇</u> MPa 調整器~メータ <u>〇〇</u> MPa 一次調整器~二次調整器 <u>〇〇</u> MPa		

様式 16. 3-3 (バルク様式 4-3)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 3)

2 供給状況等

高圧部	主な管の材料	白ガス管		
中・低圧部	露出部	主な管の材料	被覆鋼管	
	埋設部	主な管の材料	ポリエチレン管	深 さ 0.8 m
	ピット	①有 (図面に明記すること。) ・ ②無		
供給状況	調整器	①自動切替式(1.分離・2-体型) ②二段減圧式(1.分離・2-体型) ③単段減圧式	能力	Kg/h
	メーター	①マイコンⅡ ・ ②S ・ ③S B ・ ④E ⑤E B ・ ⑥その他 () , _____ 号		
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	①有 ・ ②無		
	対震自動ガス遮断装置	①メーター内臓 ・ ②感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	①有 (1.流量検知式・2.圧力検知式・3.流量検知式圧力監視型) ・ ②無		
気化装置 (添付書類)	①有 (形式 _____ , 能力 _____ kg/h) ・ ②無 (認定書の写し)			
消火器	能力単位 A-(5), B-(12) 本数 (1) 本			

3 充てん設備に係る事項

項目	対応事項	添付書類
充てん事業者	名称 <u>株〇〇〇〇 △△販売所</u>	
充てん設備の種類	①規則第64条第1項に基づく設備 (新型) ②規則第64条第2項に基づく設備 (従来型)	
車輛登録番号	登録番号 <u>春日部 〇〇〇 あ 〇〇〇〇</u>	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 <u>V</u> 番号 <u>〇〇〇〇</u>	
許可番号及び許可年月日	許可番号 <u>〇〇〇〇 第〇-〇〇〇号</u> 許可年月日 <u>平成〇〇年 〇〇月 〇〇日</u>	
車輛停車位置	第1種保安物件までの距離 <u>〇〇</u> m 第2種保安物件までの距離 <u>〇〇</u> m	

様式16. 3-4 (バルク様式4-4)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙4)

4 設備士等

設備士名	三郷次郎	設備士免状番号	埼玉県 No.〇〇〇〇
設備士再講習受講年月日	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日		
ポリエチレン資格者氏名	三郷次郎	資格番号	〇〇号
配管用フレキ管資格者名	三郷次郎	資格番号	〇〇号
施工後の表示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	施工完了年月日	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日
工事業者連絡先電話番号	電話 048-〇〇〇-〇〇〇〇		
販売事業者名・電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (株〇〇〇〇 △△販売所 048-000-0000) ・ <input type="checkbox"/> 未定		

5 その他の添付書類

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し (再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。)
4	気密試験結果 (自記圧力計の記録用紙の写し) *中圧部分がある場合はその結果も必要